

適期刈取について

収穫適期は、昨年より遅く平年並みです。適期に収穫するよう準備をお願いします。

なお、ほ場により生育のばらつきがあるため、子実水分が30%以下となったほ場から、適期内に刈取りを終えるようにしましょう。

*水分30%の状態とは・・・

茎葉と子実のほとんどが黄化し、屈曲した穂の割合がほ場全体の50%程度となった頃です。(右図参照)



I 収穫前の作業ポイント

- (1) カラスノエンドウは収穫前に必ず抜き取る！！
実需者から混入防止の徹底が求められており、取引先の信頼確保のためにも行いましょう。
- (2) 畦畔雑草の除草とコンバインの清掃・点検を行い異物混入防止に努めましょう。
- (3) 大麦跡大豆・ハトムギ等の作付け予定がある場合は、①大麦収穫、②土壌改良資材散布、③耕起・播種作業が同時並行で実施できるよう準備を行いましょう。



カラスノエンドウとその種子

II 収穫時の作業ポイント

○収穫後は、直ちに乾燥施設に搬入しましょう。

(収穫後4時間以上放置すると、熱損粒等の発生により品質が低下します。)

～CE 受入れは5月29日から～

<営農指導員からのコメント>

あなたの大麦ほ場の収穫適期は、
月 日 からです！！

* 大麦跡は、大豆、ハトムギ、緑肥等の作付けを行い、ほ場の有効活用とカメムシ類の生息地をなくすように努めましょう！